

# 歴史的建造物の維持管理を考える

—主催は福井県コンクリート診断士会 共催は福井県建設技術公社



講演する谷川恭雄氏。  
国内外の豊富で貴重な  
体験談を多数披露。

福井県コンクリート  
診断士会（石川裕夏会  
長）が主催する毎年恒  
例のコンクリート診断  
技術セミナーは25日、  
会員外の一般参加者も  
合わせて約130人が  
会場を埋め、熱心にそ  
の重要性を学んだ。

セミナーは毎回、全  
国的にも著名な講師を  
招き、今回はこの分野  
の第一人者、NPO法  
人コンクリート技術支  
援機構理事長で名古屋  
大学名誉教授の谷川恭  
雄氏が務めた。テーマ  
には歴史的建造物の維  
持管理を設定。福井県  
建設技術公社も共催し  
た。会場は福井市手寄  
の市地域交流プラザで  
『写真。

谷川氏はトルコの世  
界文化遺産ハギア・ソ  
フィア大聖堂やイタリ  
ア国宝ヴィコフォルテ  
教会堂など貴重な調査  
にも携わり、そこで  
に体験談を交え修復の課  
題とともに魅力も語り  
かけた。歴史的建造物  
を中心とするコンクリ  
ート系構造物の調査や  
診断、補修の問題点と  
して「文化財保存の原  
則であるオーセンティ  
シティ（真正性や由緒  
正しさ）に照らし、形  
態と意匠などが当初か  
ら変わらず保持され続  
けることが必要で特に  
コンクリートの場合材  
料と材質の不变性が体  
変に難しい。遵守する  
ならば煉瓦や目地モル  
タル、コンクリート等  
の使用材料や配合は当  
初のまま。さらに型枠  
の欠陥や材質の違いに  
よるコンクリートの表  
面性状（質感・凹凸・  
色合い）なども当初通  
り」などと強調した。

## コンクリート診断技術セミナー

### 第一人者の谷川恭雄氏が講演



石川会長はセミナー  
冒頭あいさつし「景観  
の一部で、まちづくり  
にも大きく貢献する歴  
史的建造物は文化や構  
築技術、さらには技術  
者の考え方をも今に伝  
える大変貴重な存在。

コンクリート技術に携  
わる者として先人達の  
知恵や工夫を知り、後  
世に伝え残していくこ  
とは我々の使命でもあ  
る」と強調した。